

ID

氏名

年齢

科名

病棟

A+AVD 療法

疾患名 ホジキンリンパ腫4 週毎 6 コース予定

主治医

指導医

HBs 抗原(+ -) HBc 抗体(+ -) HCV 抗体(+ -)

スケジュール

		day1	15
エクザール(ピンブラスチン)	6 mg/ m ² 【最高 10 mg】	↓	↓
ドキシソルビシン	25 mg/m ²	↓	↓
ダカルバジン	375 mg/m ²	↓	↓
アドセトリス(ブレンツキシマブ ベドチン)	1.2 mg/kg	↓	↓

【注意】 * ダカルバジンは血管痛予防のため点滴・ルートも遮光。

血管確保用の生食と同時滴下で調整しながら施行。

* ドキシソルビシンの総投与量は 500 mg/m² を超えないこと。

* アドセトリスの投与量は体重が 100kg 超える場合は 100kg として計算すること。

☆通常量より減量する際の理由☆

(レジメン)

day1, 15

抗がん薬投与 1 時間半前にアプレピタントカプセル (125 mg) 1C を内服

- | | | |
|------------------------------|------------------|----------------------|
| ① 生食 500 mL にて血管確保 | | 維持(20 mL/時間) |
| ② パロノセトロン 0.75 mg + 生食 20 mL | | 側管静注 |
| ③ デキサメタゾン 9.9 mg + 生食 10 mL | | 側管静注 |
| ④ エクザール | + 生食 50 mL | 点滴静注 5 分(600 mL/時間) |
| ⑤ ドキシソルビシン | + 生食 50 mL | 点滴静注 5 分(600 mL/時間) |
| ⑥ ダカルバジン | + 5%ブドウ糖液 100 mL | 点滴静注 60 分(100 mL/時間) |

A+AVD 療法

⑦ アドセトリス + 注射用水 適量 + 生食 適量(全量 100 mL) 点滴静注 30 分

*1 バイアルあたり注射用水 10.5 mL で溶解し(5 mg/mL)、必要量を抜き取る。

(投与量が 40 mgを下回る場合は生食 50 mL に修正する)

◎終了後、メインの生食でルート内フラッシュして抜針

day 2-3, 16-17 アプレピタントカプセル(80 mg) 1C 1×朝 内服

day 2-4, 16-18 デキサメタゾン錠 8 mg 2×朝、昼 内服

	コース		コース		コース	
	day 1	day 15	day 1	day 15	day 1	day 15
月日	/	/	/	/	/	/
エクザール 開始時間	↓	↓	↓	↓	↓	↓
ドキシソルビシン 開始時間	↓	↓	↓	↓	↓	↓
ダカルバジン 開始時間	↓	↓	↓	↓	↓	↓
アドセトリス 開始時刻	↓	↓	↓	↓	↓	↓
確認						

	コース		コース		コース	
	day 1	day 15	day 1	day 15	day 1	day 15
月日	/	/	/	/	/	/
エクザール 開始時間	↓	↓	↓	↓	↓	↓
ドキシソルビシン 開始時間	↓	↓	↓	↓	↓	↓
ダカルバジン 開始時間	↓	↓	↓	↓	↓	↓
アドセトリス 開始時刻	↓	↓	↓	↓	↓	↓
確認						